令和7年
第383号

ふがく光
fugaku hikari

社会福祉法人 富岳会
〒412-0033
静岡県御殿場市神山1925-1148
TEL〈0550〉87-0167
FAX〈0550〉87-6916

施設の紹介
～日常生活密着編～
特集号

富岳の園は障害のある方の『働く、暮らす』を支えるため、就労支援、生活支援を行っています。利用される方々の可能性を引き出し、生活の自立と社会自立を支援しています。今回は通所、入所の 86 名の利用者の方々の１日の流れをご紹介します。

障害者支援施設

富岳の園の１日に密着

～1日の流れ～

時間	入所者	通所者
6:00	起床	
7:30～	朝食	
8:00～	ラジオ体操 歩行トレーニング	登園
9:00～	利用者朝礼　→　各作業、活動	
12:00～	昼食 富士ざくらホテル太鼓公演	
13:00～	各作業、活動	
16:00	終礼	
16:00～	入浴	降園
18:00～	夕食	
21:00	就寝	

食事

朝礼

歩行トレーニング

タオルたたみ作業

パン工場パン成型作業

清掃作業

厨房食器洗い作業

ダンボール組立作業

障害者支援施設

富岳の郷の１日に密着

富岳の郷は 18 歳から 87 歳までの幅広い年齢層の方が利用されています。障害特性や身体の状況も様々であるため、個々の利用者の方に合わせた支援を行うことで、心穏やかに安心して生活が送れるようにユニットごとに分かれて日々の活動に取り組んでいます。
今回は富岳の郷の１日の流れをご紹介します。

ユニット活動

～１日の流れ～

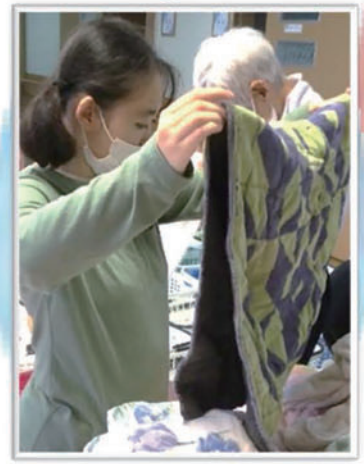
時間	活動内容	
	１階フロア　ユニット	２階フロア　ユニット
8：00	朝食	朝食
9：00	朝礼、洗濯たたみ	朝礼、洗濯たたみ
10：00	入浴	療育活動及び作業活動
11：00	↓	↓
12：00	昼食	昼食
13：00	ラジオ体操・歩行訓練	ラジオ体操・歩行訓練
14：00	平日：療育活動及び作業活動 水曜日：クラブ活動	平日：療育活動及び作業活動 水曜日：クラブ活動
15：00	↓	入浴
16：00		↓
17：00	余暇活動	余暇活動

専科活動

作　業

食　事

洗濯たたみ



クラブ活動

歩行訓練

児童発達支援センターの1日に密着

富岳学園　富岳裾野学園

9:00 登園

通園バスにて登園します

9:40 朝の会

各クラスオリジナル朝の会です。

発達段階に合わせ視覚的にわかりやすいようにしています！

10:00 水分

ちょっと休憩

10:10 5分間トレーニング

朝、集中力を高めます

オリジナルプログラムとして絵画に取り組みます

10：20～11：50　13：00～13：50　活動

児童発達支援センターオリジナルの療育プログラム

和太鼓

音楽

絵画・造形

体育

課題

プール活動

12：10　給食

苦手なものも少しずつ

手作り給食・おやつでおいしいな

14：00　おやつ

14：40　帰りの会

今日の活動を振り返ります♪

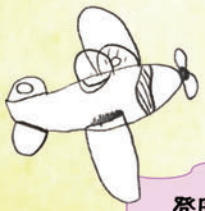
15：00　降園

通園バスにて降園です

今日も一日頑張りました♪

保育所・こども園の1日に密着

☆富岳会には保育所が2園、こども園が1園あります。
今回はオリジナルカリキュラム以外の活動に密着し、
それぞれの園で楽しく過ごす子どもたちの1日の様子を紹介します☆



れっつごー！

登園

保育士が玄関でお預かりします。
「いってきます」

登園 おはよう！

着がえ

活動しやすい体操着にきがえます。

朝の会

当番が交代で司会をしてくれます。

おやつ

3歳未満児はおやつを食べて
エネルギーチャージ!!

朝の会

活動①

水遊び

季節に合わせた遊びを楽しみます。

室内遊び

各クラスごといろいろな計画を立て、
活動を行います。

活動②

専門講師による富岳会オリジナルカリキュラムの様子は
次号でお伝えしますのでお楽しみに!!

お散歩

安全に気をつけながら、お出かけ。

給食

栄養士さんが、栄養バランスなどを考えた給食。
みんなのお楽しみの時間です。

お昼寝 or 活動③

お昼寝

お昼寝の時間です。
・0歳から2歳までは通年
・3歳児は4月から9月まで
疲れた体を休めます。

戸外活動

大きいクラスの子どもたちは
お昼寝をせず、活動をします。

活動④

製作

年齢ごと、子どもたちに合った方法で行います。
さまざまな道具の使い方も学びます。

おやつ

旬の食材が提供されることもあり、笑顔になります。

みんなで食べると美味しいな。

帰りの会

掃除の時間

「今日も1日ありがとう！」
感謝の気持ちをもって、おそうじします。

降園

お迎えがきた子は先生に呼ばれ
玄関で引き渡しします。
「ただいま～！！」

降園 さようなら！

毎日が笑顔あふれる楽しい活動でいっぱいです。
いろいろな経験を通しての健康な体づくりや、
保育士やお友だちとの関わりにより、美しい心や
愛情を育てられるような活動を行っています。

富岳一ノ瀬荘　オレンジシャトー富岳　富岳ダイヤモンドライフすその の 一日に密着

一日の流れ

07：00
- 起床介助・移動
- 洗顔

朝のお茶をお召し上がりいただきます

08：00
- デイルームにて朝食

朝食後、口腔ケアをしていただきます

10：00
- お茶の時間・入浴

12：00
- デイルームにて昼食

昼食後、口腔ケアをしていただきます

14：00
- リハビリ・レクリエーション等
- 入浴

15：00
- おやつの時間

17：00
- デイルームにて夕食

夕食後、口腔ケアをしていただきます

19：00

20：00
- 就寝

21：00

1時間ごと職員が見回り致します

5：00

朝のお茶

お昼ごはん

おやつの時間

イベント(運動会)

イベント(納涼祭)

イベント(お花見)

注）時間は目安です。施設ごとに違いがある場合があります。

園芸の様子

高齢者施設の富岳一ノ瀬荘、オレンジシャトー富岳、ダイヤモンドライフすそのでは、
様々な余暇活動を行っています。
施設内の畑を使い、実際に土に触れて園芸を楽しんでいます。

成長を楽しまれています。

暖かい日差しのもと、
土に触れています。

料理レクの様子

畑でとれたジャガイモを使い、
ポテトサラダを作りました。

六月二十六日、六月二十七日に富岳会職員を対象に夏期研修が、裾野市生涯学習センターで行われました。

基調講演

特別研修『時代に合わせた組織作り
～カスタマーハラスメント対応を中心に～』
講師　弁護士法人かなめ　畑山　浩俊　弁護士

弁護士法人かなめ　畑山浩俊弁護士を講師に迎え、時代に合わせた組織作りをテーマにカスタマーハラスメント対応を中心とした講演をしていただきました。

人は感情の生き物であり、感情に寄り添った対応が必要になること。そのためには、インシデント対応五原則が必要不可欠となり、この五原則が組織としてやるべき対応となることを学びました。

《インシデント五原則とは》

一、「発生後の初動対応」救護措置、損害拡大防止、事態の把握
　時系列で起こった出来事　や、処置した時間を記録、記憶しておく
二、「謝罪」共感、道義的責任
　まずは謝罪。この初動対応は最も重要。お詫びの言葉を使わずにクレームを収束させることは不可能。
三、「事実関係の調査・原因分析」
　具体的な再発防止策の提示、企業の対応を明確にするためには、具体的な原因分析と調査が不可欠。
四、「中間報告」（事案による）
　事実の調査にあまり時間が空きすぎると相手側には不満や不安を与えてしまうので、中間報告を適宜行う。
五、「最終報告・再発防止策の提示」
　法的責任の有無に基づく賠償対応
　一～四の手順を踏んで、最後に法的責任や賠償などの検討を開始する。

適切な福祉の提供の前提として大切なことは、「職員が安心して働くことのできる環境を作る」ことです。クレーム対応も防災訓練を実施するのと同じように訓練が必要で、突発的に発生するクレームにおいて、自分たちの事業の軸をずらすことなく、インシデント対応五原則に基づいて、今後も組織としてしっかり対応していきたいと思います。

理事長講話

今年度は、「法人の運営と今後の施設作りについて」の講話でした。富岳会の沿革についてこれまでの歩みの中でその時代のニーズにこたえながらも変わらないのは法人理念の健心愛です。

今、経営理念として掲げているのは①イノベーション（革新）②二歩先を読んだ運営です。その具体策の長期計画として「施設のゾーン化」、中期計画として「施設のブランド化」です。加速する少子高齢化に向け、施設のゾーン化のメリットを生かし、施設のブランドでもある児童施設の「能動的人間形成のためのプログラム」。児童発達支援センターの富岳式インクルーシブ教育、老人施設ではQOLの向上、成人施設では就労支援といった各施設生き残る戦略として選ばれる施設のため、日々努めています。

最後に私たち職員へ一人一人が「強み」を持つということの重要性をメッセージとして話されました。「強み」とは専門性、特技、趣味と言ったこと。「一道に達すれば自ら地に通ずる」希望が持てる言葉です。また「足元をみつめる」ということ一つのことを極めるまで持続させるエネルギーを持ち、自分の夢に向かって長時間探求し続ける。転職＝キャリアではなく今の職場でのキャリアアップを行うことの大切さを再確認させられました。また、リーダーのための三ヶ条は「人財（材）を育てる」「人脈を育てる」「常に革新」です。唯一生き残れるのは変化できるものだけです。富岳会の職員として、福祉人として、いま私たちにできること、求められることは何かと考えさせられる講話でした。

施設長講話

今年度の施設長講話では、各施設の「今後の施設作りについて」のお話がありました。

《富岳の園》地域移行を目指すために生活全般の福祉サービスを行っている。入所者が自身の選択の機会を多く設け、自発的な意欲を伸ばし、また、発表の機会を設けることで達成感を得られるようにしている。「できないではなく、こうしたらできる」を考え続けていきます。

《富岳の郷》地域移行への取り組みが重視される中、現状富岳の郷

行事予定

11月1日　富岳まつり式典・おまつり広場…全
2日　富岳まつり一般公開……全
　東地区コミュニティ祭り……キ
4日～6日　希望面談……保
4日～7日　個人面談……キ
5日　富岳会合同防災訓練……全
10日　なわとび会……保
11日　3園合同スポーツ
　フェスティバル（5歳児）……保・南・キ
13日　消防体験入署（5歳児）……南
14日　七五三神社参拝・
　幼年消防クラブ街頭広報……キ
16日　福祉まつり……南・キ
17日　交通教室（3～5歳児）……保
18日　食育ライブイベント……キ
　全園児キッズセンターあい交流会　裾
19日　なわとび会……南
20日　勤労感謝園外外出（4・5歳児）　保・キ
21日　勤労感謝園外外出（3・4歳児）　保

園（富岳の園）郷（富岳の郷）保（富岳保育園）南（富岳南保育園）キ（キッズセンターあい）学（富岳学園）裾（富岳裾野学園）
一（富岳一ノ瀬荘）オ（オレンジシャトー富岳）ダ（富岳ダイヤモンドライフすその）エ（富岳エメラルドパレス）フ（富岳フレンドハウス）全（全施設）

について考えてみると、利用されている対象者から地域移行や意思表示を明確に行うことが難しい方もいますが、日常生活における「スポット的な選択」ということに関しては多くの機会を作っていきたいと考えています。

《富岳保育園・富岳南保育園・富岳キッズセンターあい》児童施設三園は、保護者支援・子どもまんなか社会・少子化と保育士不足について重視すべきであるとまとめました。子どもをまんなかに保護者に寄り添った保育を実現するために、日々の話し合いを行い、まずは現状の職員とできることをから始めていきます。

《富岳学園》地域の障害児支援の拠点として、発達支援・家族支援・地域支援を多角的に担い、連携しながら支援の輪をひろげていけるよう、障害者のノウハウを更に発展させ、今後も地域の子どもたちが安心して育ち、笑顔で過ごせるように、職員と共に取り組んでいきます。

《富岳裾野学園》幅広い高度な専門性に基づく発達支援と家族支援を行うための取り組みを重視し、子どもの意見を取り入れ、子どもを中心とした支援計画、療育を提供することを大切にしていきます。

《富岳一ノ瀬荘》今年度の運営方針である「お客様に親切・丁寧なサービスを提供する」を掲げ、利用者の方々に「安心・安全」「思いやり」「寄り添う」介護を基本とし、まずは、職員同士の情報共有を行い、課題があれば話し合い、方向性を決める必要があると考えます。さらに、専門的な知識の向上を図るために、新しい知識の情報も研修を通して共有していきたいと思います。

《オレンジシャトー富岳》昨年度は大小の事故があり、現時点でも事故が減少していません。事故防止のために、各職員が報告を受けて各自が原因やなぜ起きたのか、起きる前に防げたのでないか等、自己意識の改善に努めていきます。

《富岳ダイヤモンドライフすその・富岳エメラルドパレス》富岳会が築き上げてきた、健・心・愛を基礎として、今後は、新たな活動を試み、利用者の生活が明るくカラフルになっていけるよう、常に進化し、選ばれる施設から入れない施設へと目指していきます。

全体研修

一日目の十三時からは、研修一、二を受け、「今、私たちに求められているもの」について、十グループに分かれ活発な意見を出し合いました。全体研修ということで普段じっくりと話し合いができない他種別の職員と話し合いができることはとても貴重で有意義な時間となりました。その中でなかなか同じ種別では思いつかないことを発見する、基本的な就業姿勢、マナー、礼儀など共通する部分も多く、刺激となることもたくさんありました。

富岳会の理念である「健・心・愛」という共通理念のもと、児童、児発、成人、老人と種別はわかれていますがサービスを提供する姿勢は変わりません。サービスの質を上げるためにどうすれば良いか、各々が考えたことを発表し、次の研修四、種別研修に向かいました。

種別研修

研修三では参加職員を十グループにわけ「いま私たちに求められているもの」について種別、職種を超えて話し合いを行い、そこで出た意見を踏まえ研修四で今できることを各種別においてさらに深めていきました。

《富岳の園》辞めさせない環境を作るために各作業セクションのマニュアルや手順書の見直し、職員間のコミュニケーションの大切さ、情報共有の仕方について共通理解を図る

《富岳の郷》利用者様へのサービスについて、選択する機会を増やしていくことでわくわくできる機会を増やしていき、コミュニケーションをとり、より良い施設作りをしていく

《児童施設》各グループで共通してあげられた職員のコミュニケーション、スキルアップ、情報共有、SNSの活用等をカテゴリー①自身の働き方②職場環境改善③サービス内容に分け意見をまとめ、共通理解を図る

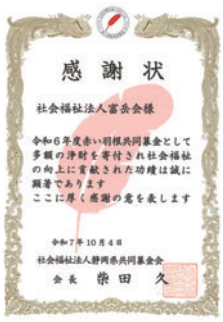
《児童発達支援センター》地域の障害児支援における中核的な組織の役割、「子どもまんなか」ということを踏まえ地域の方に認められる施設作りをするために意見をまとめ共通理解を図る

《高齢者施設》「介護とは」という根元を考え、その中で今自分が求められることとは、相手軸、相手主体にて求められていることをカテゴリー別に話し合いその中で今後を見据え強みを作りブランド化、選んでいただける施設を目指すグループワークを踏まえた話し合いだったため、より活発な意見交換となり有意義な研修時間となりました。

25日	なわとび会	キ
29日	自主公演	園・郷・フ
12月5日	公開防災訓練	裾
6日	0・1歳児 生活発表会	保・南・キ
11日	もちつき大会	保・学
13日	保護者会奉仕作業	キ
18日～22日	県愛護ギャラリー展	園・郷・学・裾
23日	クリスマス会	キ
24日	クリスマス会	南・一・ダ・オ・エ
25日	クリスマス会	保・学・裾
1月4日～28日	年末年始休暇	全
15日	千人展オープニング	全
15日～17日	千人展	全
16日	生活発表会リハーサル	保
17日	生活発表会	保
23日	生活発表会リハーサル	南
24日	生活発表会	南
30日	生活発表会リハーサル	キ
31日	生活発表会	キ

園（富岳の園）郷（富岳の郷）保（富岳保育園）南（富岳南保育園）キ（キッズセンターあい）学（富岳学園）裾（富岳裾野学園）
一（富岳一ノ瀬荘）オ（オレンジシャトー富岳）ダ（富岳ダイヤモンドライフすその）エ（富岳エメラルドパレス）フ（富岳フレンドハウス）全（全施設）

令和7年度職員表彰



感謝状

社会福祉法人富岳会様

令和6年度赤い羽根共同募金として多額の浄財を寄付され社会福祉の向上に貢献された功績は誠に顕著であります
ここに厚く感謝の意を表します

令和7年10月4日
社会福祉法人静岡県共同募金会
会長　柴田　久

【静岡県知的障害者福祉協会　会長表彰】
《富岳の園》
生活支援員……斎藤やす子
《富岳フレンドハウス》
サービス管理責任者……藤原　唱子
《富岳の郷》
サービス管理責任者・主任生活支援員……渡辺　潤
生活支援員……渋谷　諭
生活支援員……渡邊　優
生活支援員……古都真由美
生活支援員……伊藤　禎
《富岳学園》
栄養士……木下真由美
保育士……鶴田　美幸
《富岳裾野学園》
児童発達支援管理責任者…古屋　尚美

【裾野市社会福祉協議会会長　表彰】
《富岳キッズセンターあい》
保育教諭……眞野　幸名
《富岳一ノ瀬荘》
介護支援専門員……中村久美子

【静岡県給食協会　表彰】
《富岳保育園》栄養士……野上さなえ

【共同募金会感謝状掲載】
御殿場市共同募金会より感謝状をいただきました。
当法人が永年募金活動を行ってきたことに対して、令和七年十月四日の福祉大会において感謝状をいただきました。

寄与者御芳名（敬称略）

【善意の人々】
ポアン美容室　大庭和子　サトウ商会 佐藤秀樹　土屋弘子
山内剛　山内香世子　橋本正美　飯塚早苗　山内勇人　早野均
東海養一　山本由紀子　橋本正美　山本雅代　森田亜美
芦澤佑一　勝俣泉　勝又愛志　杉山延江　山口敏彦　蜂屋和幸
勝又恭代　渡部綱市　辻弘延　小野勇　大場祐治　高橋瑞代
竹鶴涼楓　大原明美　菅沼明美　山﨑恭夫　杉山克己　三井明
㈱時之栖　沼津信用金庫富士岡支店 石川直樹
あおば社会保険労務法人　富士ざくらホテル 小澤健男
ホテル鐘山苑 宮下丈之　田代車輛整備工場 田代滋
富岳の郷保護者会　神山報徳社

【物品等寄付】
東静岡ヤクルト販売㈱　安本明彦　湯山博美・恵美子
島名陽子　杉本圭司　伊東哲夫　㈲トータルサービス御殿場
鈴木治療所　杉山ヒロ　㈱カジマヤ　杉山米店　奥田裕子
富士病院　水口ふくゑ　山川正典　久保寺一雄　木下廣行
勝又愛志　鎌田悠羽奈　山本唯月　菊地真樹　三枝あこ
山本雅代　中島百恵　マルハン萩原東店　㈱ヤクルト
佐藤壱城　植田陽乃十　土佐谷真紀子　鈴木清隆　三縄あけみ
勝田弘　宇田川昭　勝又かよ子　長田恵子　渡辺隆徳　髙橋潤
野坂セツ　川路隆博　やまいもクラブ　小林新吉　森田勝昭
下川幸代　藤川昌子　石田櫻子　後藤智明　大石英之
渡辺ちゑ子　塩川弘美　岡田章広　クランチケア　フロンティア
市川六美　長田芳雄　河合尚樹　水口大介　永田しのぶ
二荒房江　杉山善則　勝又羊子　中川幸彦　荻田美智子
小野みゆき　杉山恵美奈　山本勝　髙田登美　杉本君正　髙橋豊
塩川きみ代　松下久恵　千葉茂　横山昌幸　金子由美　稲葉孝年
佐々木明　山本光時　荻田徳美　安藤輝夫　遠藤ひろみ
小林宏子　杉山龍治　加藤信之　藤本知美　市川文髙

四月～九月苦情受付状況

四月
【児童発達支援施設】
・子どもに対する支援方法について
五月
ありませんでした
六月
【児童施設】
・子どもに対する声掛けについて
【高齢者施設】
・ご家族に対する職員の対応について
七月
ありませんでした
八月
【成人施設】
・運転マナーについて
・利用者様の支援について
九月
【児童発達支援施設】
・園児同士のトラブル対応について
今後も、より良いサービスの提供に努めていきます。

編集後記

今号も「ふがく光」をお読みいただきありがとうございます。
施設の日常生活に密着し、紹介させていただきました。
また、研修で学んだことも報告させていただき、今後の施設づくりに生かせるよう努めていきたいと思います。
次号は、施設の紹介～富岳会オリジナルカリキュラム編～をお届けいたしますので、楽しみにしていてください。

発行　ふがく光　第三八三号　令和七年十一月十七日